

日本宗教学会

第60回学術大会

期日 2001年9月14日(金)～16日(日)
会場 久留米大学
久留米市御井町1635

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。お帰りの際は受付に名札をご返却下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）。
5. 研究発表のレジメ（表紙・本文）は、部会責任者にお渡し下さい。
 - 締切 大会最終日（9月16日）16時30分
以後の提出は一切受け付けません。
 - 表紙 同封のレジメ表紙をご利用下さい。
 - 枚数 題目・氏名を除いて、400字詰縦書き原稿用紙4枚以内厳守。
ワープロ原稿を1行40字で作成の場合は40行以内厳守。
枚数を超過した場合は掲載できないこともございます。
 - 本文 縦書き（ワープロ・パソコンでの印字も縦書き）。
なるべくワープロ・パソコンでプリントアウトした原稿をご提出下さい。
図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。
校正は事務局で行います。読みやすいレジメをご提出下さい。
6. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮下さい。
7. 大会本部への電話は次の番号を御利用下さい。
 - 大学代表 0942-43-4411（事務局内線番号436）
 - 事務局長 0942-43-4430
 - 緊急連絡用 090-7981-6672
 - FAX 0942-43-4430

受付	500号館1階
会員休憩室1	500号館521教室
会員休憩室2	500号館522教室
日本宗教学会本部	500号館511教室
学術大会本部	500号館511教室
クローク	500号館512教室

日 程

9月14日(金) (筑水会館)

学会賞選考委員会	(1階)	12:00~14:00
各種委員会	(1階)	12:00~14:00
開会式	(2階イベントホール)	14:00~14:15
公開講演会	(2階イベントホール)	14:20~16:00

「ダビデの原像を求めて」

久留米大学文学部教授

三ノ上 芳一

「メキシコ・トラホムルコの神話の構造とコンパドラスゴ」

九州大学名誉教授・久留米大学名誉教授 野村 暢清

琴の調べ「筑紫楽から現代箏曲まで」

生田流箏曲大師範

16:15~16:45

中村雅楽芙美

理事会 (梅光苑)

17:30~19:30

9月15日(土) (御井学舎)

研究発表	(500号館・600号館・700号館)	9:00~12:00
評議員選考委員会	(600号館613ゼミ教室)	10:00~12:00
評議員会	(600号館621教室)	12:00~13:30
研究発表	(500号館・600号館・700号館)	13:30~16:10
会員総会	(600号館631教室)	16:20~17:40
懇親会	(梅光苑)	18:30~20:30

9月16日(日) (御井学舎)

研究発表	(500号館・600号館・700号館)	9:00~12:00
『宗教研究』編集委員会	(600号館614ゼミ教室)	12:00~13:30
研究発表	(500号館・600号館・700号館)	13:30~16:30
閉会式	(500号館・600号館・700号館)	各部会終了後部会ごとに

第1部会

500号館 51A教室

9月15日(土) 午前9:00~12:00

1. 植民地韓国における比較宗教論
2. ハイラー宗教学をめぐって
3. エリアードとキタガワ
4. 一神教と多神教—Y. カウフマンのヴェルハウゼン批判について—
5. 伝道の比較宗教学
6. 「聖」概念をコンテクスト化する
7. 教典と儀礼

沈 善瑛	筑波大
宮嶋 俊一	神奈川大
奥山 倫明	南山大
手島 勲矢	大阪産業大
関 一敏	九大
竹沢 尚一郎	九大
土屋 博	北大

午後13:30~16:10

1. 合理的選択理論と新・世俗化論争
2. マックス・ヴェーバーにおける世俗化概念
3. 「公/私」区分と世俗化
4. イギリス宗教社会学と世俗化論
5. 宗教学における比較の現在
6. 救済内面主義と政教分離社会
7. 政教分離理論の動向—比較社会・法の観点から—
8. 死をめぐる想念について

小池 靖	日本学術振興会
荒川 敏彦	日本学術振興会
住家 正芳	日本学術振興会
山中 弘	筑波大
藤原 聖子	大正大
金井 新二	東大
井門 富二夫	桜美林学園
脇本 平也	国際宗教研究所

9月16日(日) 午前9:00~12:00

1. 岸本能武太における「宗教」と「近代」
2. 日本の宗教研究における儀礼理解
3. 宗教的多元主義の構図とその批判
4. <出来事>と<記憶>—聖伝の解釈学的循環—
5. 聖俗のはざま—セルフヘルプの「スピリチュアリティ」—
6. エリクソンの宗教心理学—近年の研究から—
7. 時間の境界・境界の時間
8. オットーの世界宗教史論
9. 信仰の基盤

山口 亜紀	名古屋大
金子 奈央	東大
若林 裕	同志社大
宮本 要太郎	筑波大
葛西 賢太	上越教育大
山中 修吾	天理大
笹尾 典代	恵泉女学園大
澤井 義次	天理大
加藤 智見	東京工芸大

午後13:30~16:30

1. P. バーガーの宗教論とその射程
2. 明治期の比較神話学—高山・姉崎・高木論争をめぐって—
3. フランス第三共和政期の宗教とライシテ—1880年代の教育改革—
4. 宗教間対話における教理の両義性—リンドベックの議論を中心に—
5. 「ポスト・エリアード」時代の比較宗教論
6. 鬼の生成と消滅
7. 脱会者の研究について
8. 超越と日常性
9. 国際化・グローバル化・宗教

諸岡 了介	東北大
平藤 喜久子	日本学術振興会
手戸 聖伸	東大
山梨 有希子	大正大
東馬場 郁生	天理大
松村 一男	和光大
渡辺 学	南山大
小田 淑子	関西大
阿部 美哉	國學院大

第2部会

500号館 52A教室

9月15日(土) 午前9:00~12:00

- | | | |
|------------------------------------|-------|---------|
| 1. アドルノにおける否定の問題 | 田口 博子 | ベルリン自由大 |
| 2. キルケゴールにおける「領域」の問題について | 須藤 孝也 | 一橋大 |
| 3. キェルケゴールと基礎づけ主義 | 藤枝 真 | 大谷大 |
| 4. S. キェルケゴールの研究方法について—日誌文書との関連から— | 平林 孝裕 | 関西学院大 |
| 5. ティリッヒの生の次元論における一問題—統一概念の周辺— | 今井 尚生 | 西南学院大 |
| 6. ヘーゲルの民族宗教 | 中島 秀憲 | 九州産業大 |
| 7. ヘーゲルと啓蒙主義 | 八田 隆司 | 明大 |
| 8. 宗教と地球環境の問題 | 小坂 国継 | 日大 |

午後13:30~16:10

- | | | |
|------------------------------------|--------|-----------|
| 1. レヴィナスの思想における誘惑の諸問題 | 伊原木 大祐 | 京大 |
| 2. ウィリアム・ジェイムズの宗教論における公共性と私秘性 | 堀 雅彦 | 南山宗教文化研究所 |
| 3. ジャン・ナベールの宗教哲学—遺稿集『神の欲望』から— | 杉村 靖彦 | 京大 |
| 4. われわれ死すべき者たち—ハイデッガーの後期思想— | 秋富 克哉 | 京都工芸繊維大 |
| 5. ハイデッガーと「生成する神」 | 小野 真 | 京大 |
| 6. ハイデッガーとヘルダー—言葉の本質への問い— | 田中 敏明 | 龍大 |
| 7. 宗教哲学の諸問題—ハイデッガーとエックハルトを手がかりとして— | 仲原 孝 | 大阪市立大学 |
| 8. 人格と無 | 名木田 薫 | 倉敷芸術科学大 |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

- | | | |
|-----------------------------------|--------|-----------|
| 1. R. W. エマソンにおける神観念 | 庄司 一平 | 東北大 |
| 2. 奇蹟について—ロックとヒュームを中心に— | 齋藤 隆 | 日大 |
| 3. ティリッヒ神学における「弁証」の問題 | 高橋 良一 | 京大 |
| 4. ティリッヒとエコロジーの問題 | 芦名 定道 | 京大 |
| 5. T. ドライバーの儀礼研究におけるリフレキシビリティについて | 森下 三郎 | 天理大 |
| 6. 図式と「詐術」—オットーとバタイユの場合— | 松田 健三郎 | 天理大 |
| 7. ユング思想における「転移とトミノースム」 | 垂谷 茂弘 | 舞鶴工業高専 |
| 8. 18世紀ドイツの啓蒙思想におけるコモン・センスの位置について | 後藤 正英 | 京大 |
| 9. ルドルフ・オットーにおける輪廻即涅槃の問題 | 木村 俊彦 | 四天王寺国際仏教大 |

午後13:30~16:30

- | | | |
|-----------------------------------|-------|-------------|
| 1. 間柄の二重性について—「空」概念使用の是非を中心に— | 宮野 美子 | 京大 |
| 2. 宗教的認識の問題—ティリッヒと久松真— | 近藤 剛 | 京大 |
| 3. 死の対応における教導書の意味—『丁憂筭録』にみる葬送の実際— | 神居 文彰 | 佛教大 |
| 4. 神智学と日本の宗教思想 | 吉永 進一 | 舞鶴工業高専 |
| 5. 心の所在—機能主義からの帰結と経験流— | 沖永 宜司 | 帝京大 |
| 6. 霊性的公共性としての「死者の尊厳」 | 寺尾 寿芳 | 和歌山信愛女子短大 |
| 7. サン・ヴィクトルのリカルドゥスにおける属性帰属をめぐる | 佐々木 徹 | 茨城キリスト教大短大部 |
| 8. 西田幾多郎における二人称の死の受容形態 | 浅見 洋 | 石川県立看護大 |
| 9. 西田哲学における「歴史的实在」の問題 | 花岡 永子 | 大阪府立大 |

9月15日(土) 午前9:00~12:00

- | | | |
|-----------------------------------|-------|----------|
| 1. シュトラウス『イエス伝』第三版における「転回」 | 千葉 智子 | 北大 |
| 2. パウロと親鸞の回心について—両者の構造的類似点について— | 高山 貞美 | 上智大 |
| 3. 法の神学的基礎付けと法の普遍妥当性の問題 | 深井 智朗 | 聖学院大 |
| 4. イエス・キリストの右手の優越性を示す義と聖とあがないについて | 木原 範恭 | 近大 |
| 5. キリスト教思想と〈啓蒙〉の問題 | 掛川 富康 | 茨城キリスト教大 |
| 6. キリシタン史上のアンジローについて | 岸野 久 | 桐朋学園大短大部 |
| 7. キリシタンにおける〈新しい信心〉 | 狹間 芳樹 | 大谷大 |
| 8. 日本人の見立ての伝統とキリシタン | 青山 玄 | 南山大 |

午後13:30~16:10

- | | | |
|------------------------------------|-------|----------|
| 1. 原爆の死を受け止める—永井隆の浦上燔祭説をめぐって— | 西村 明 | 東大 |
| 2. シモーヌ・ヴェイユにおける真空と超自然的パンの同時性 | 松原 詩乃 | 京大 |
| 3. 日本キリスト教の朝鮮布教—総督府統計資料にもとづいて— | 工藤 英勝 | 足利工業大 |
| 4. 近代ドイツのキリスト教的民族主義運動—A. ディンターの場合— | 久保田 浩 | チュービンゲン大 |
| 5. ホロコーストとキリスト教 | 澤田 愛子 | 富山医科薬科大 |
| 6. 教育基本法制定に際してのキリスト教徒の役割 | 雨貝 行麿 | 東北学院大 |
| 7. アンセルムス「友のための祈り」と愛の探求 | 山崎 裕子 | 文教大 |
| 8. グレゴリオス・パラマスとエックハルトにおけるテオーシス思想 | 田島 照久 | 早大 |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------------|
| 1. 解放の神学者のとり立場—政治・教会・民衆・民俗— | 沖塩 尚孝 | 東大 |
| 2. 開国と宗教の自由—日・中・韓比較考察— | 申 昌浩 | 国際日本文化研究センター |
| 3. クザーヌスの教会論における表象の問題 | 島田 勝巳 | 天理大 |
| 4. 初期マルセルの二つの日記の比較に見る死生観の変化について | 小林 敬 | 酪農学園大 |
| 5. ルイス・デ・レオン『キリストの御名』における「名」の意義 | 鶴岡 賀雄 | 東大 |
| 6. 正教会暦と奉神札における聖書の誦読箇所について | 中西 裕一 | 日大 |
| 7. ル・フォールにおける「預言者」 | 八木 博 | 山梨大 |
| 8. 選びと予定の思想—パウロと旧約聖書との比較— | 野口 誠 | 茨城キリスト教大 |
| 9. イスラエル宗教における神の臨在の観念の展開 | 市川 裕 | 東大 |

午後13:30~16:30

- | | | |
|------------------------------------|--------|--------|
| 1. 地域社会とカトリック教会—南インド・K司教区の構造と活動— | 岡光 信子 | 東北大 |
| 2. キリスト教会の死者祭祀 | 待井 扶美子 | 東北大 |
| 3. 安井てつとキリスト教 | 森上 優子 | 南山大 |
| 4. ある聖霊派教会の発展と変貌 | 小川 順敬 | 駒大 |
| 5. インドネシアの多民族都市における民族教会 | 木村 敏明 | 弘前大 |
| 6. 文化へのまなざしと植民地主義—ベトナム伝道初期の事例を中心に— | 萩原 修子 | 熊本学園大 |
| 7. キリスト教信仰とナショナリズム—金教臣における信仰と「愛国」— | 丹羽 泉 | 東京外国語大 |
| 8. 「平和をつくる沖縄キリスト者の会」と復帰期の沖縄社会 | 小林 紀由 | 日大 |
| 9. カルト/セクト論争と現代ナショナリズム | 中野 毅 | 創価大 |

9月15日(土) 午前9:00~12:00

- 『阿毘曇心論』の業品における三悪行について
- 随念(anusmṛti)から三昧(samādhi)へ
- 『維摩經玄疏』體玄義の譬喩依用に関する一考察
- 攝大乘論第三章における菩薩道について
- ジャイナ教文献の外道思想
- Atīśāと『般若經』
- 一闍提(icchantika)とは何か一語義解明に向けての一試論一
- 『夷堅志』にあらわれた仏教

- | | |
|-------|-----------|
| 智谷 公和 | 相愛大 |
| 洪 鴻榮 | 立正大 |
| 山口 弘江 | 国際仏教学大学院大 |
| 渡邊 親文 | 龍大 |
| 茨田 通俊 | 東方研究会 |
| 望月 海慧 | 身延山大 |
| 阿 理生 | 九大 |
| 永井 政之 | 駒大 |

午後13:30~16:10

- 願生心について—曇鸞を中心に—
- 善導具疏に於ける懺悔観の一考察
- 中国浄土教史における「大願業力」の意味するもの
- 法然における善と悪
- 星野元豊の浄土解釈の特徴—星野師を偲んで—
- 道綽『安樂集』における『観經』理解
- 大谷探検隊と青木文教将来資料について
- 法然門弟における化土・辺地説について

- | | |
|--------|------------|
| 中村 英俊 | 龍大 |
| 上野 成観 | 龍大 |
| 久米原 恒久 | 大正大総合佛教研究所 |
| 前田 壽雄 | 龍大 |
| 木村 世雄 | 龍大 |
| 柴田 泰山 | 大正大総合佛教研究所 |
| 三谷 真澄 | 龍大 |
| 山本 浩信 | 浄土真宗教学研究所 |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

- 『法華經』伝播の一考察—經典書写の観点から—
- 『法華玄義』と『維摩經玄疏』の教判論に関しての一考察
- 湛然の法相批判をめぐって
- 天台『観經疏』に見られる須摩提説話について
- 天台本覚思想文献の時代設定について
- 法華經学史における釈尊観の展開
- 中国大理白族の民俗宗教
- 『青龍寺軌』について
- 『三僧記類聚』にみられる空海

- | | |
|-------|-------------|
| 竹内 正祥 | 立正大 |
| 鄭 世成 | 立正大 |
| 長倉 信祐 | 大正大 |
| 原田 宗司 | 龍大 |
| 花野 充道 | 早大 |
| 田村 完爾 | 立正大 |
| 菅原 壽清 | 曹洞宗総合研究センター |
| 佐藤 正伸 | 高野山大 |
| 武内 孝善 | 高野山大 |

午後13:30~16:30

- 房山石經の一考察
- 中国仏教における末法思想の性格についての一考察
- 新羅時代仏国寺伽藍の構造と思想基盤
- 成覚房幸西の廃立について
- 証空・親鸞における「聖浄二門」理解について
- 中世真言教学における浄土観—道範の場合—
- チベットの極楽の国土
- 中国皇帝喪礼の変遷—北朝喪礼の特質—
- 空海における自受法樂の意味について

- | | |
|-------|---------|
| 白山 和宏 | 立正大 |
| 原田 哲了 | 龍大 |
| 李 興範 | 立正大 |
| 松崎 憲道 | 龍大 |
| 那須 一雄 | |
| 佐藤 もな | 東大 |
| 梶濱 亮俊 | 摂南大 |
| 田沼 眞弓 | 國學院栃木短大 |
| 福田 亮成 | 大正大 |

9月15日(土) 午前9:00~12:00

1. 親鸞の真俗二諦観—『末法灯明記』を中心として—
2. 親鸞書簡にみる現生正定聚の意義
3. 法然と親鸞の信疑決判について
4. 親鸞における仏道の成就—「後序」一句への新釈—
5. 親鸞における「雑」の了解
6. 親鸞における歴史観
7. 「他作自受の難」と親鸞教学
8. 親鸞の宗教的倫理観

- | | |
|--------|-------|
| 麻生 暁文 | 龍大 |
| 高田 未明 | 龍大 |
| 中臣 至 | 龍大 |
| 池田 真 | 大谷大 |
| 平原 晃宗 | 大谷大 |
| 武田 未来雄 | 大谷大 |
| 河智 義邦 | 龍大 |
| 菊藤 明道 | 京都創成大 |

午後13:30~16:10

1. 行信と信行
2. 道元の〈現成〉に見る生命観
3. 道元『正法眼蔵』における「超越」
4. 江戸期における瑩山禅思想の位置付けについて—仏性観を探る—
5. 昭和初期曹洞宗における教育について
6. 中世林下幻住派の密参禅について
7. 大慧禅と『大慧武庫』
8. 道元禅師の発願利生について

- | | |
|-------|-------------|
| 貫名 謙 | 大谷女子短大 |
| 新保 哲 | 姫路獨協大 |
| 土田 友章 | 南山大 |
| 宮地 清彦 | 曹洞宗総合研究センター |
| 熊本 英人 | 駒大 |
| 安藤 嘉則 | 駒沢女子大 |
| 石井 修道 | 駒大 |
| 青龍 宗二 | 駒大 |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

1. 住正定聚についての一考察—邪定・不定に注目して—
2. 親鸞浄土教における「有」と「無」の思想的意義
3. 親鸞における名号本尊依用の思想的背景
4. 真宗師弟論の研究—吉水入室800年にあたりて—
5. 『教行信証』における「自」のよみについて
6. 真宗と福祉—思想と実践の問題—
7. 親鸞における越後と関東—その課題性について—
8. 歎異抄第十三条の「後世者ぶり」の問題
9. 真宗教学における体と義

- | | |
|-------|-------------|
| 小川 直人 | 大谷大 |
| 日野 慶之 | 龍大 |
| 能勢 晃隆 | 浄土真宗本願寺派宗学院 |
| 葛野 洋明 | 龍大 |
| 山田 恵文 | 大谷大 |
| 藤 憲之 | 龍大 |
| 鶴見 晃 | 真宗大谷派教学研究 |
| 西田 真因 | 真宗大谷派教学研究 |
| 中山 一萱 | 京都産業大 |

午後13:30~16:30

1. 日蓮の伝道と浄土教批判との関わりについて
2. 日蓮の法華経受容—法華経布教の付属に関して—
3. 日蓮『注法華経』に関する基礎研究
4. 日蓮教学における善と仏種
5. 近世武家における寺院代参の形態
6. 日蓮の故事・説話引用と門下教導のあり方
7. 創造型—神教と生成型—法教—統合としての宗教—
8. 日蓮の『立正安国論』における『選択集』批判
9. 仏陀は凡夫に内在するか—日蓮教学の問いかけ—

- | | |
|--------|---------|
| 高山 秀嗣 | 龍大 |
| 渡邊 彰良 | 立正大 |
| 関戸 堯海 | 身延山大 |
| 原 慎定 | 立正大 |
| 望月 真澄 | 身延山大 |
| 小林 正博 | 東洋哲学研究所 |
| 大久保 雅行 | 久留米大 |
| 北川 前肇 | 立正大 |
| 渡邊 寶陽 | 立正大 |

9月15日(土) 午前9:00~12:00

1. 体細胞ヒトクローン—真宗的立場からの一考察—	石田 智秀	龍大
2. 近現代真宗思想研究	牧野 仁	龍大
3. アメリカの浄土真宗	本多 彩	阪大
4. 親鸞とカウンセリング	吾勝 常行	龍大
5. 戦後真宗学の動向—阿弥陀仏理解と思想史的研究に関して—	寺本 知正	NCC宗教研究所
6. 浄土真宗における死生観	塚田 博教	京都女子大附属小
7. 親鸞における伝道の根拠	深川 宣暢	龍大
8. 終末論の信、末法観の信—「浄土真宗とキリスト教の対話」—	高田 信良	龍大

午後13:30~16:10

1. 融通念佛宗総本山大念佛寺の聖衆来迎会	神崎 寿弘	佛教大
2. 明慧上人における信満成仏の立場	李 妍淑	国際仏教学大学院大
3. 狂“ぶり”—熱狂の宗教性—	永原 順子	京大
4. 文献資料による回心研究の意義	徳田 幸雄	東北大
5. 文覚・上覚と明恵	前川 健一	日本学術振興会
6. 遺言にみる現代日本人の自然思想	何 燕生	郡山女子大
7. 存覚教学の研究	林 智康	龍大
8. 南島葬送儀礼における死霊の受容と忌避について	加藤 正春	ノートルダム清心女子大

9月16日(日) 午前9:00~12:00

1. 近代日本宗教の中国観—仏教を中心に—	辻村 志のぶ	東大
2. 日本の仏教儀礼にみられる浄化の力	須藤 寛人	駒大
3. 禅宗寺院の一年、庶民と民俗仏教について—乗国寺の場合—	渡部 正英	駒大
4. 寺院と祭祀をめぐって	深瀬 俊路	曹洞宗総合研究センター
5. 普寛行者の開山活動の一考察—木曾御嶽山の事例を中心として—	中山 郁	國學院大
6. 九州南部における念仏勧進と禁制—時衆と一向宗との対比から—	小野澤 眞	時宗教学研究所
7. 中世仏教の成立と聖遺物信仰	青木 淳	高知女子大
8. 『沙石集』『雑談集』に見る仏僧と憑依	池上 良正	駒大
9. 仏教伝道と寺檀制度について	皆川 廣義	駒大

午後13:30~16:30

1. 佐々木月樵と大学昇格	御手洗 隆明	大谷大
2. 普為乗教の精神	坂井 祐円	大谷大
3. 東方之光とMOAの間 —信者の視点から—	川上 恒雄	ランカスター大
4. 現代におけるタタリ信仰について—新宗教を中心として—	武田 道生	大正大
5. 新宗教と利他主義—イギリスの教団を事例に—	稲場 圭信	フランス国立社会科学高等研究院
6. 韓国のシャーマンの守護霊について	川上 新二	北京大朝鮮文化研究所
7. 真宗と道教思想	中山 彰信	九州情報大
8. 須弥山の行方—近代仏教の自然観—	岡田 正彦	天理大
9. 続「行者」考	長谷部 八朗	駒大

9月15日(土) 午前9:00~12:00

- | | | |
|-----------------------------------|-------|-----|
| 1. 戦いの宗教的次元について | 岩崎 賢 | 筑波大 |
| 2. 中国社会における外来宗教の受容と変容—マニ教の事例を中心に— | 常塚 聰 | 東大 |
| 3. 神社における「収穫の祭礼」について | 海上 直士 | 成蹊大 |
| 4. 日本固有靈魂観の研究 | 中川 正光 | |
| 5. 『小倉百人一首』から窺われる怨霊としての後鳥羽上皇 | 鞆津 照信 | |
| 6. 中国古代の創世神話における水のシンボリズム—「太一生水」— | 池澤 優 | 東大 |
| 7. 平田篤胤の言説と江戸の都市社会 | 遠藤 潤 | |
| 8. 粟ヶ岳の磐座について | 植田 重雄 | 早大 |

午後13:30~16:10

- | | | |
|----------------------------------|-------|-------------|
| 1. 法道仙人と飛鉢の説話について | 田中 夕子 | 佛教大 |
| 2. 思想としての神道—20世紀前半の神道をめぐる論説を中心に— | 巖 麗京 | 東大 |
| 3. 近世初期の仙台藩における宗教制度と修験道 | 伊藤 辰典 | 日本学術振興会 |
| 4. 夢と魂 | 海山 宏之 | 茨城県立医療大 |
| 5. 山上憶良の宗教観 | 芦名 裕子 | 亜細亜大 |
| 6. 中江藤樹『鑑草』に見えたる「明德佛性」について | 鈴木 保實 | 愛知県立明和高 |
| 7. 宮座と村の動向—近代における福岡県賀茂神社の神和(宮座)— | 山口 信枝 | 久留米大比較文化研究所 |
| 8. 古代中国に於ける神明崇拜の考察 | 栗原 圭介 | 大東文化大 |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------------|-------|-------------|
| 1. 内観サークル運動における男性性の諸問題 | 熊田 一雄 | 愛知学院大 |
| 2. 明治期日本における諸宗教の相互認識に関する一考察 | 星野 靖二 | 東大 |
| 3. 浄瑠璃における生まれ変わり | 細田 明宏 | 日本学術振興会 |
| 4. 伊勢神宮の遷宮における御束神宝の奉獻について | 八幡 崇経 | 皇學館大神道研究所 |
| 5. 「皆川家旧蔵資料」に見られる陰陽道祭祀について | 鈴木 一馨 | 東方研究会 |
| 6. 近世近代農村における陰陽道—『東方朔秘伝置文』の異文より— | 小池 淳一 | 愛知県立大 |
| 7. オルコットと明治の仏教 | 西尾 秀生 | 近大 |
| 8. 前期国学研究の視座—春満から真淵へ— | 松本 久史 | 國學院大日本文化研究所 |
| 9. 補陀落渡海僧・日秀の行動—熊野那智出帆説をめぐって— | 根井 淨 | 神戸常盤短大 |

午後13:30~16:30

- | | | |
|---------------------------------|--------|------------|
| 1. ロベール・エルツの聖ベス研究にみる宗教学の課題 | 江川 純一 | 東大 |
| 2. 「風景」と世界像 | 平良 直 | 筑波大 |
| 3. 朝鮮半島と北部九州における国家母神信仰の形成について | 須永 敬 | 神奈川大 |
| 4. バリ・ヒンドゥーにおける祈りの形態の現代的変容 | 嘉原 優子 | 中部大 |
| 5. イスラムにおける「自由」—近代の知識人を中心として— | 八木 久美子 | 東京外国語大 |
| 6. 宗教におけるグローバル/ジェンダー・ポリティクス | 薄井 篤子 | 神田外語大 |
| 7. ヒジュラについての一考察 | 堀内 みどり | 天理大おやさと研究所 |
| 8. 古代末期における「公的祭儀」をめぐって | 中西 恭子 | 東大 |
| 9. ゴロアスター教徒パーシーの聖火殿建設をめぐる二、三の問題 | 中別府 溫和 | 宮崎公立大 |

9月15日(土) 午前9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------------|---------|--------------|
| 1. 伊勢参宮習俗の現在 | 濱千代 早由美 | 名大 |
| 2. ウミガメ信仰の諸類型 | 藤井 弘章 | 京大 |
| 3. 山岳聖域の戒律と自然保護の関連—英彦山の四土結界について— | 長野 覺 | 跡見学園女子大 |
| 4. 新出の誓願寺蔵仏涅槃図について | 加藤 善朗 | 国際日本文化研究センター |
| 5. 公共空間における「からだ」の主題化—ルルド巡礼分析— | 寺戸 淳子 | 専修大 |
| 6. 定説「真宗地帯のキリシタン改宗はない」を見直す | 川村 信三 | 上智大 |
| 7. 「シャマニズム論」の背景と課題—動態信仰現象論の立場から— | 楠 正弘 | 東北大 |
| 8. 沖縄県西表島のかまど神信仰 | 窪 徳忠 | 大正大総合佛教研究所 |

午後13:30~16:10

- | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|
| 1. 政治的介入による葬送習俗の変容—中国徳宏タイ族の事例研究— | 長谷 千代子 | 九大 |
| 2. 「カルト」をめぐる調査と教育—大学における実践報告— | 弓山 達也 | 大正大 |
| 3. 新宗教「イエスの方舟」の正統性と異端性 | 新免 貢 | 宮城学院女子大 |
| 4. 新宗教とハイパー宗教—現代宗教への一視座— | 井上 順孝 | 國學院大 |
| 5. モルモン教成立の背景—E. トッドの家族人類学を仮説とする考察— | 高山 眞知子 | 江戸川大 |
| 6. 終末予言失敗と未来ビジョン—オウムからアレフへ— | 尾堂 修司 | |
| 7. オウム真理教研究の進展 | 島薺 進 | 東大 |
| 8. 宗教の定義と一部オウムの暴カーヴェーバーの方法的視座から— | 池田 昭 | |

9月16日(日) 午前9:00~12:00

- | | | |
|--------------------------------|-----------|------------|
| 1. 山村にみる祭祀空間の構造 | 滝澤 克彦 | 東北大 |
| 2. 祖先祭礼の意味を求めて—葬儀と葬後の死者祭礼— | ヨルン・ボクホベン | 阪大 |
| 3. 現代詩における老いの問題 | 中村 友 | 早大 |
| 4. 墓地から考える無縁仏信仰 | 土居 浩 | ものづくり大 |
| 5. 無痛社会と緩和医療—宗教者の課題— | 林 弘幹 | 真宗大谷派教学研究所 |
| 6. 安楽死—死苦からの解放— | 金 永晃 | 大正大総合佛教研究所 |
| 7. 日本の伝統宗教における地域コミュニティと情報化への対応 | 黒崎 浩行 | 國學院大 |
| 8. 中山みきと雨乞いづとめ—被差別民衆史の視点から— | 池田 士郎 | 天理大 |
| 9. 解放の宗教の課題としてのハンセン病国賠訴訟 | 菱木 政晴 | 西山短大 |

午後13:30~16:30

- | | | |
|---------------------------------|--------------|-------------|
| 1. 菩薩行実践としての社会活動への参加—法音寺の事例から— | ランジャナムコバディヤヤ | 東大 |
| 2. 宗教的相互作用の変化に伴う教義システムの変容 | 深水 顕真 | 広島大 |
| 3. 移民の宗教をめぐる方法的試論 | 谷口 智子 | 筑波大 |
| 4. 明治期の啓蒙的思潮がおよぼした葬儀慣習への影響 | 村上 興匡 | 東大 |
| 5. 価値観調査にみる日本人の宗教意識(1)2001年調査より | 永井 美紀子 | 國學院大 |
| 6. 価値観調査にみる日本人の宗教意識(2)異文化比較の可能性 | ロバート・キサラ | 南山大 |
| 7. 英彦山座主家の墓制 | 山本 義孝 | 静岡県浅羽町教育委員会 |
| 8. いのちの始まりとスピリチュアリティ | 安藤 泰至 | 鳥取大 |
| 9. 現代社会と死—出版状況からみたその変化— | 鈴木 岩弓 | 東北大 |

御井学舎部屋別一覽

(9月15日(出)・16日(日) 9:00~)

500号館

受付	500号館1階
学術大会本部	500号館511教室
日本宗教学会本部	500号館511教室
クローク	500号館512教室
1部会	500号館51A教室
8部会	500号館51B教室
2部会	500号館52A教室
3部会	500号館52B教室
会員休憩室1	500号館521教室
会員休憩室2	500号館522教室

600号館

控室	600号館611・612・617ゼミ教室
評議員選考委員会	600号館613ゼミ教室
「宗教研究」編集委員会	600号館614ゼミ教室
図書販売	600号館615・616ゼミ教室
評議員会	600号館621教室
4部会	600号館622教室
会員総会	600号館631教室

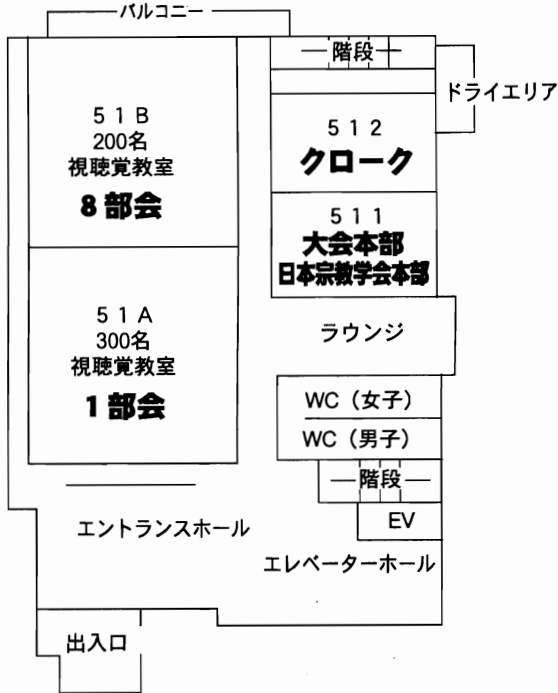
700号館

5部会	700号館711教室
6部会	700号館712教室
7部会	700号館713教室

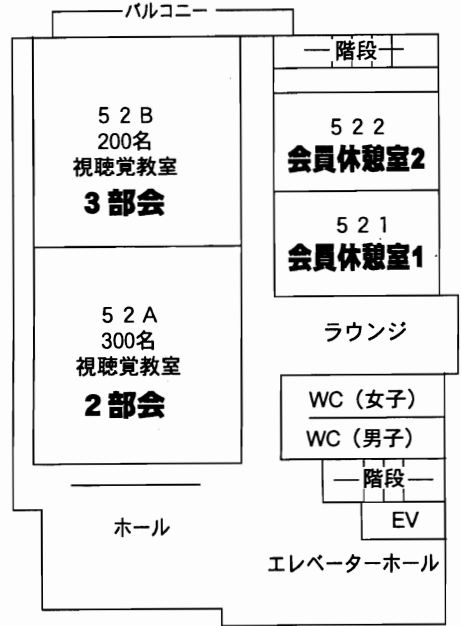
御井学舎会場図

500号館

1階



2階

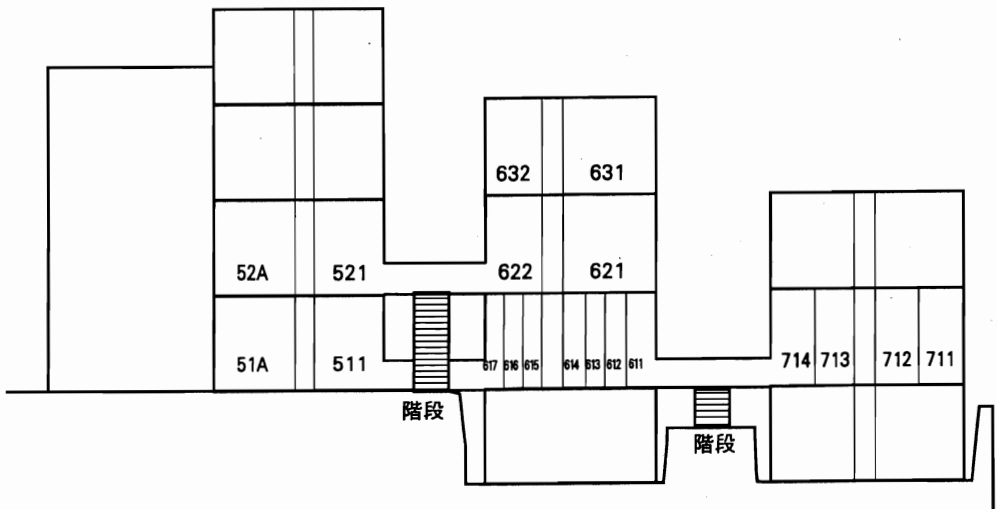


■会場建物立面図

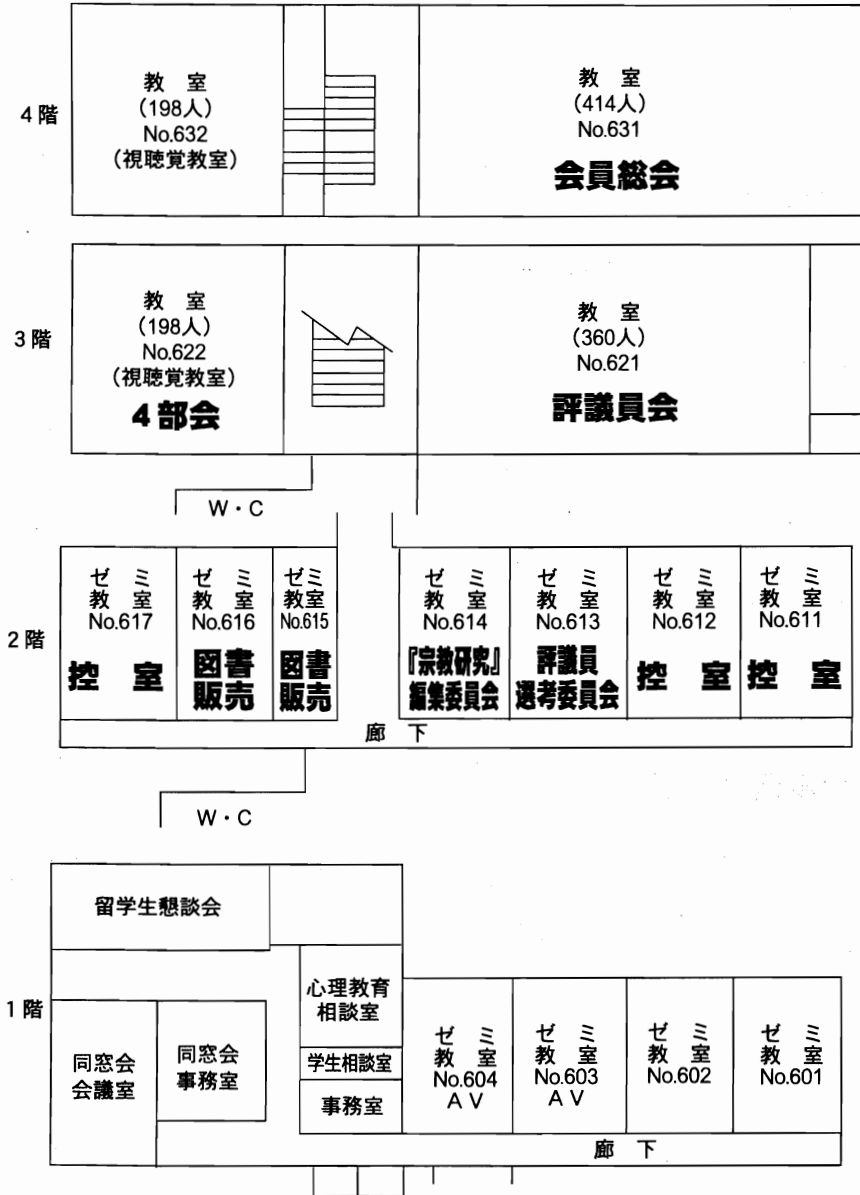
500号館

600号館

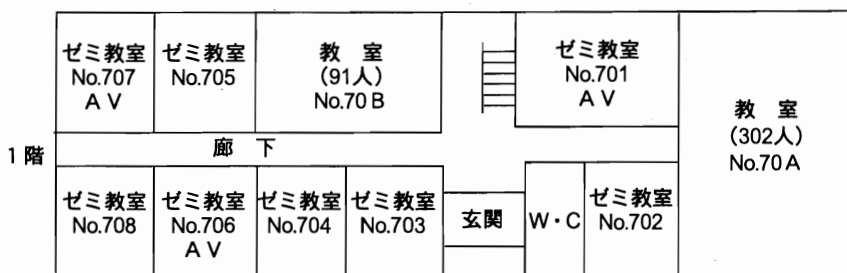
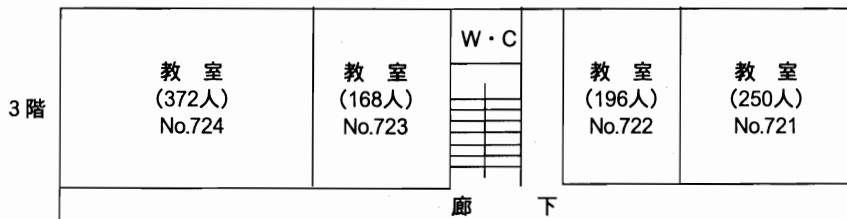
700号館



600号館

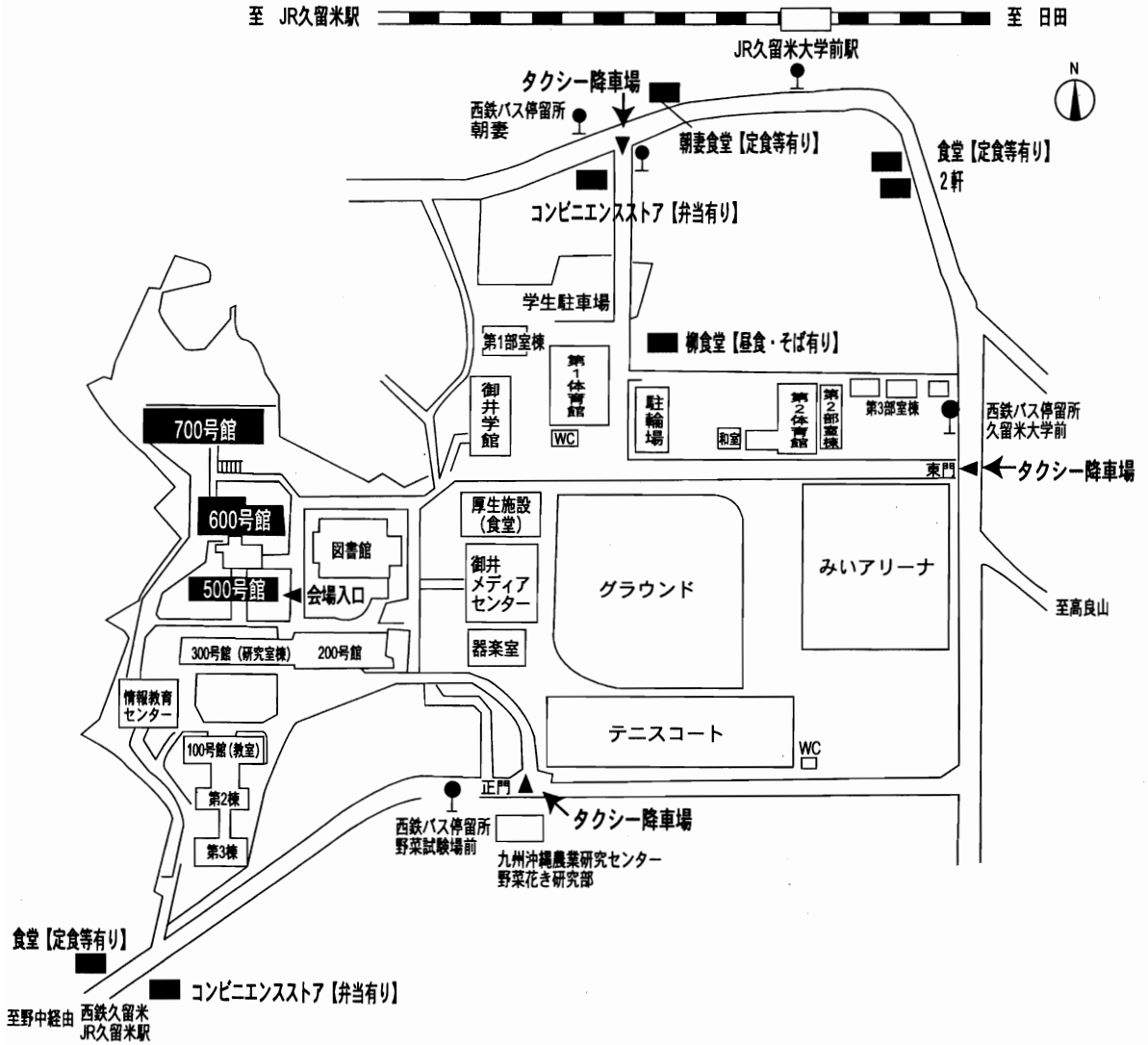


700号館



御井学舎構内図

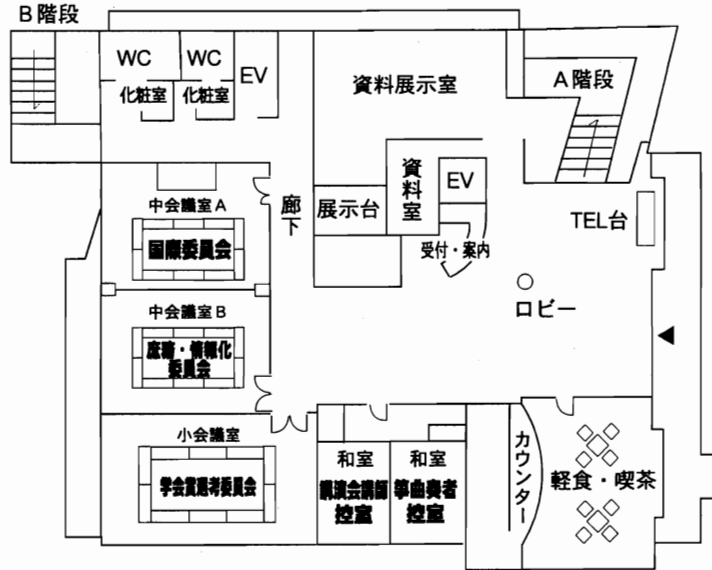
(9月15日(土)・16日(日) 9:00~)



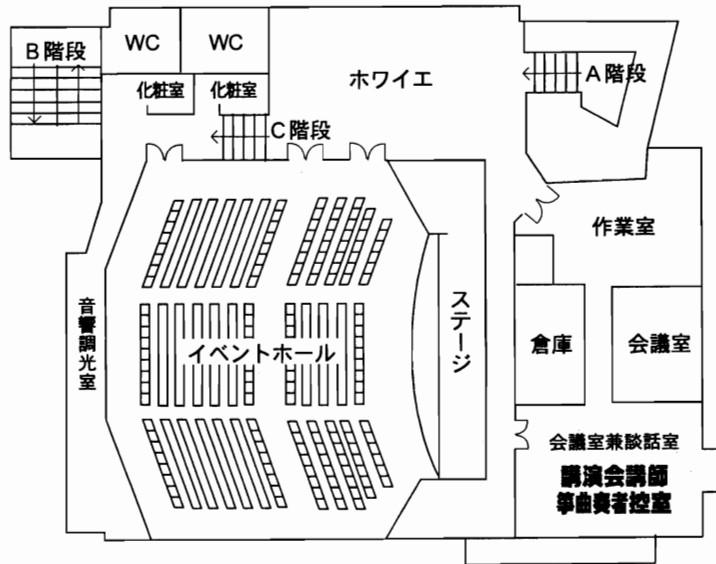
※研究発表・会員総会会場
500号館・600号館・700号館

筑水会館会場図

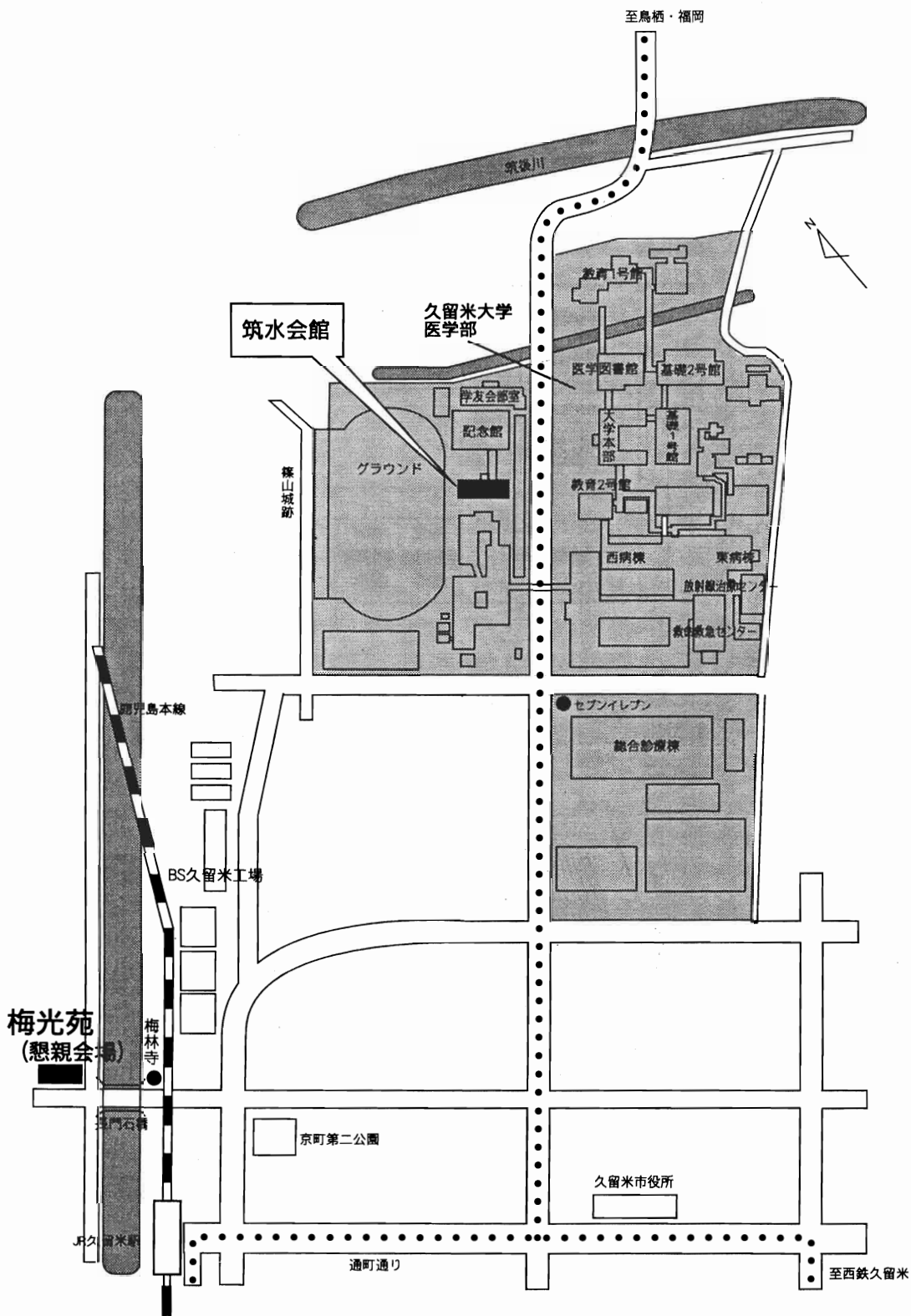
1 階



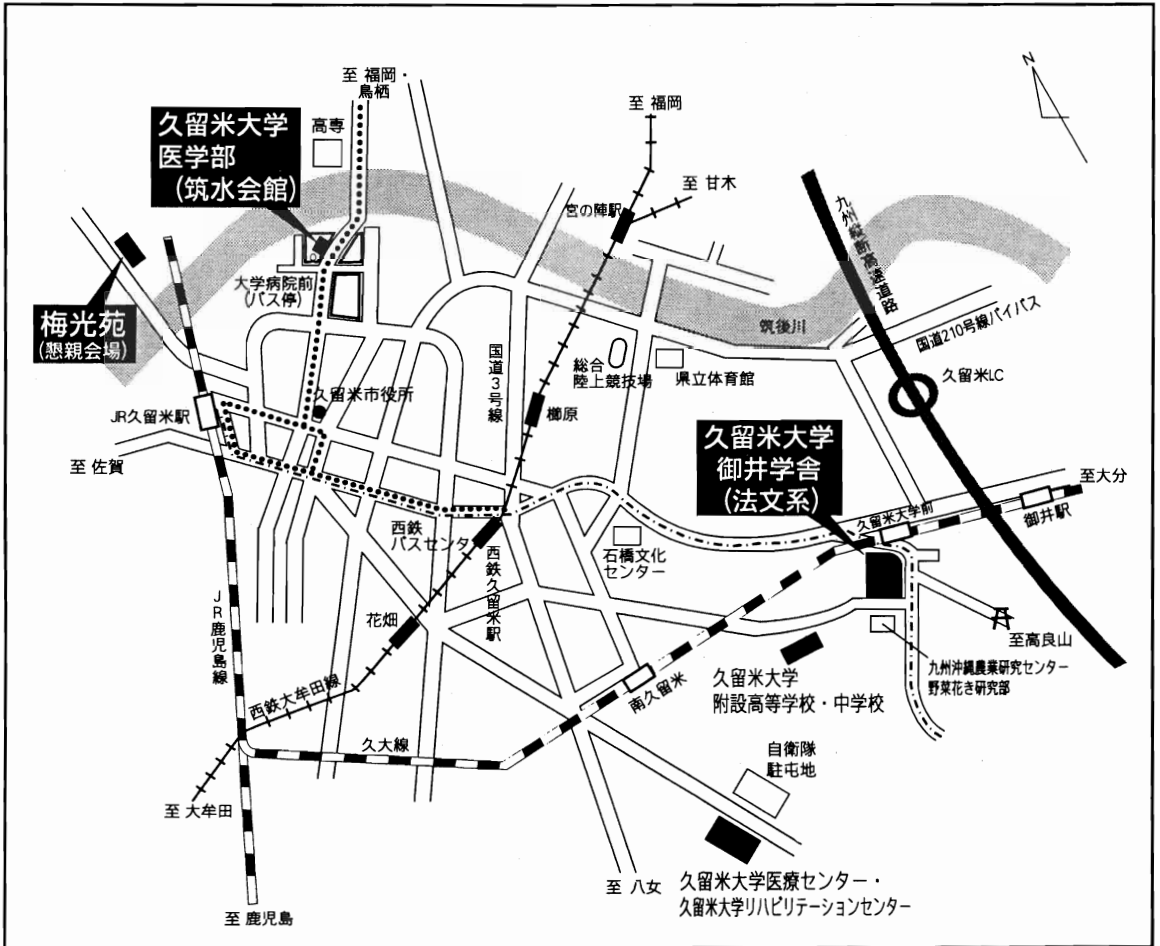
2 階



筑水会館案内図



久留米大学アクセスマップ



交通アクセス

久留米大学御井学舎（法文系）

■西鉄バス系統番号 1

文化センター経由信愛女学院にて朝妻又は久留米大学前下車
 〈所要時間〉JR久留米駅から25分、西鉄久留米から15分

■JR久大本線

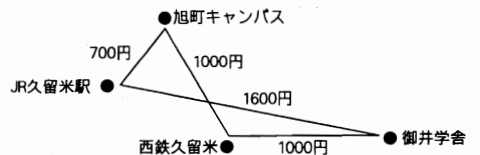
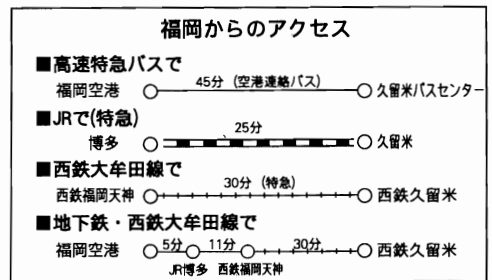
〈所要時間〉JR久留米大学前駅下車徒歩3分

久留米大学医学部・筑水会館

■西鉄バス系統番号5.8.20.33

大学病院、高専前にて大学病院又は医学部前下車
 〈所要時間〉JR久留米駅から7分、西鉄久留米から17分

- 旭町キャンパス行き西鉄バス
- - - - 御井キャンパス行き西鉄バス



タクシー料金

- ・西鉄久留米～御井学舎……………約1000円
- ・JR久留米駅～御井学舎……………約1600円
- ・JR久留米駅～旭町キャンパス……約700円
- ・西鉄久留米～旭町キャンパス……約1000円